



川尻幼稚園だより 平成30年12月7日(金) 文責 石川

11月を中心とした「心かがやけ月間」の取組

「命を大切にする心や規範意識」を育むために、学校・園ごとに、保護者の皆様や地域社会と連携した取組を行い、社会全体で子どもたちを育もうという意識を高めるとともに、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、「心かがやけ月間」が設けられています。本園での取組の一端を紹介します。

○ あいさつ運動



地域の方々に見守られての登園。元気なあいさつの声がかかります。年長組の子どもたちも進んであいさつ運動に参加しました。毎月、親子あいさつ運動も行っています。笑顔で園の1日が始まります。

○ 婦人会・祖父母の方々との交流会



本園玄関前のカエデは美しく紅葉します。今年度は初の試みとして、婦人会の方々のご指導によるお茶席、祖父母の方々とのふれあい遊びを合わせて交流会を行いました。紅葉の美しさや日本の伝統を感じながらのお茶席は格別でした。遊びを通して、おじいちゃん、おばあちゃんとの会話も弾みました。子どもたちも合奏や劇や歌を披露しました。

○ 劇団「天然木」の方々とのワークショップ



劇団「天然木」の方々による演劇を鑑賞した後、体全体や言葉を使って表現するワークショップが行われました。チームに分かれ、表現したいものをどのように伝えるのか話し合い、みんなの前で伸び伸びと発表しました。伝えること、伝わることの心地よさを実感しました。

今後も、家庭、幼保小中、地域と連携・協働して、子どもたちの確かな育ちにつながるよう活動を工夫していきたいと思っております。ご理解ご協力をお願いいたします。